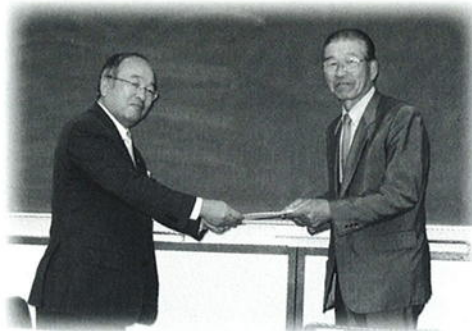


大山振興室  
から  
情報発信！

# 「大山恵みの里づくり計画」制定！



計画書を町長に手渡す赤川哲夫委員長（右）

総合計画のシンボル施策である「大山恵みの里構想」を実現するための行動計画が、昨年11月から町内各種団体の代表者などで構成するプロジェクト推進会議（赤川哲夫委員長以下29名）で検討・協議され、この度まとめられました。

この計画は、「大山をシンボルとする観光地域づくりによる産業・雇用・所得の活性化」を基本理念として、①魅力を高める②交流人口を増やす③雇用と所得を増やす④情報を発信する⑤人材を育むの5つの目標を掲げています。既に取り組んでいる大山の恵みからす天狗市や観光ボランティアガイドのように、町内にある貴重な地域資源や人材を活かし、「自然の恵み」、「歴史・文化の恵み」、「人・心の恵み」、「農と食の恵み」を磨き上げ、さらに高め、町を元気にするさまざまな施策が示されています。

計画の詳しい内容は、後日お配りする概要版や、3月に開催するフォーラムでご紹介します。

目標を達成するためには、町民・企業・行政などがそれぞれ

の立場で身近な活動に参加し、共に本気になって汗を流さなければなりません。みなさんの力を結集し、「大山恵みの里づくり計画」を実現しましょう！

## 町誌編さん作業にご協力を！

教育委員会事務局教育研究所では、中山町誌・名和町誌・大山町誌の編さん作業を行っています。



民俗について聞き取りをする編集委員

### 中山町誌は今年度刊行予定

中山町誌の編さんは、合併前からの取り組みで、新修の町誌として、平成19年度の刊行を目標に編さん作業を継続し、現在は執筆作業とその他の補足調査などを行っています。

### 名和町誌と大山町誌は平成21年度刊行予定

名和町誌・大山町誌については、合併までの町の歩みを各町誌としてまとめておくことになり、昨年5〜7月にか

けて、各編さん委員会を立ち上げて協議を重ねました。そして、前各町誌（昭和53年度・55年度に刊行）の続編として必要な増補も行いながら、平成21年度の刊行を目標に編さん作業を進めることを決め、その作業を推進する編集委員の推薦、決定を行いました。8月には、各編集委員会を立ち上げて、執筆内容や分担を決定し、専門部会を設置して、それぞれで具体的に執筆作業などを進めていくこととなりました。

### 聞き取り調査を始めています

現在は、各専門部会で担当分野の執筆内容の詳細、資料の調査や収集の進め方について検討しており、すでに民俗部会では、現地に出向いて、聞き取り調査などを始めています。

昨年は、各町誌編さんに関して、資料の収集や民俗聞き取り調査で訪問させていただいたり、公民館をお借りしたり、町民の皆さんや各部落には、たいへんお世話になりました。

今年も、民俗聞き取り調査などをお願いを予定しています。その際にはご協力をよろしくお願いたします。